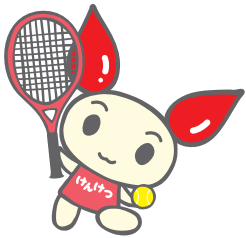




けんけつ



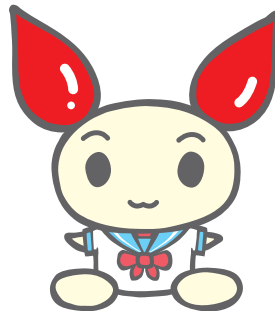
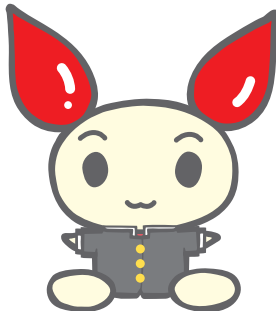
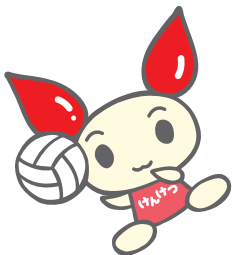
HOP STEP JUMP



献血は命を
つなぐ
ボランティア



教員用



厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare

2019年度版



目次



◆生徒用ページ◆

- 2 必要不可欠な献血
- 3 高校生のみなさんへお願い
- 4 献血の基礎知識
- 5 献血の手順
- 6 患者さんに血液が届くまで
- 7 輸血を受けた方々・けっしょう血漿分画製剤を使用した方々の声
- 8 学生献血推進ボランティアからのメッセージ
- 9 献血 Q & A
- 12 複数回献血のお願い
- 13 ミニコラム
- 14 LOVE in Action Meeting (LIVE) フォトレポート
- 15 献血ができる場所一覧
- 18 血液センター所在地一覧



◆教員用参考資料編◆

- 20 ご理解・ご協力をお願いします
- 21 採血基準
- 22 献血いただく前に
- 23 問診票の解説
- 28 献血後の注意事項
- 29 献血者の健康被害
- 30 血液事業のあゆみ





献血ってどうして必要なの？



「**献血**」とは、病気やけがで輸血や血漿分画製剤を必要とする患者さんのために、自分の血液を自発的かつ無償で提供することです。

病気やけがで血液が必要な患者さんは、健康な人の血液を補給して治療する必要があり、これを「**輸血**」といいます。

また、「**血漿分画製剤**」は、やけどや感染症、血友病の治療などに使われる医薬品で、「**血液**」からつくられます。

この「**血液**」は、国民の皆様の善意の献血によって提供されているのです。

献血のご協力をお願いする理由（輸血用血液の場合）

人工的に造れない！

現代は、医療技術がどんどん進歩しています。しかし、輸血用血液はいまだに人工的に造ることができません。

長期保存ができない！

血液は生きた細胞の集まりなので、長い間保存ができません。

いつでも患者さんに血液を届けられるように、毎日新しい血液を確保しなくてはなりません。

献血回数・量には制限がある！

献血いただく方の健康を守るために、1人あたりの年間の献血回数や献血量には上限が設定されています。

そのため、必要な量の血液を集めるためには、多くの方に協力していただく必要があります。

病気の治療に必要です！

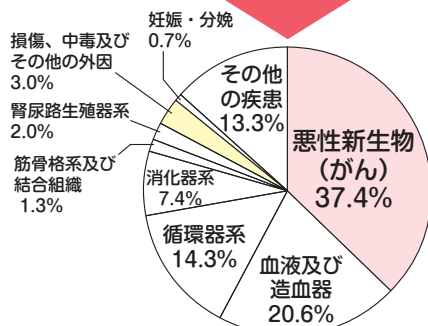
輸血はどのような時に使われるのでしょうか？

多くはがん治療で、約40%を占めます。

このような病気の治療で、血液は常に必要とされています。

「輸血」というと、大けがした時に使われるイメージがあるけれど・・・

けが治療はわずか3.0%で、ほとんどは病気の治療に使われているっ！



疾病別輸血状況（不詳を除く）
（平成28年東京都福祉保健局調べ）





高校生のみなさん！献血にご協力を！



少子化で献血可能人口が減少している中、若い世代の献血者数も減少しています。この状態がずっと続くと、どうなるのでしょうか。

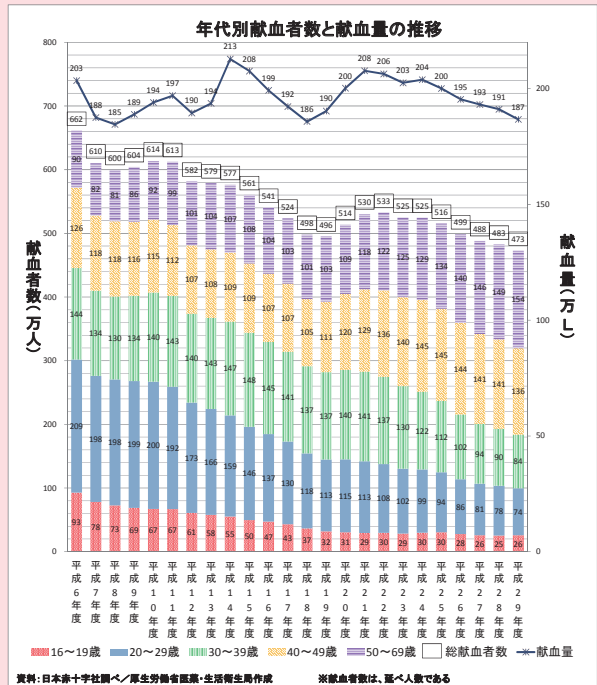
若い世代の協力が必要です！

献血者数は減少傾向にあり、特に10代から30代の献血者数は、この10年で約35%も減少しています。

献血者数が減少していても、1人あたりの献血量の増加などにより、現在は必要な血液量を確保することができます。

しかし、献血可能人口が減少し続け、若い世代からの協力が得られないと、将来必要な血液量を確保できなくなるおそれがあります。

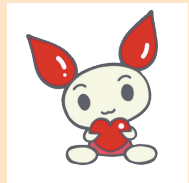
将来の献血基盤を支えていくためには、皆さんの協力が不可欠です。



**あなたの献血で、多くの患者さんの命が救われます。
皆さんのご協力をお願いいたします。**

献血ってどこでできるの？

日本赤十字社が運営する全国の献血ルームや献血バスなどで献血することができます。(献血ができる場所については15~17頁をご覧ください)



○事情があって献血ができないという方へ○

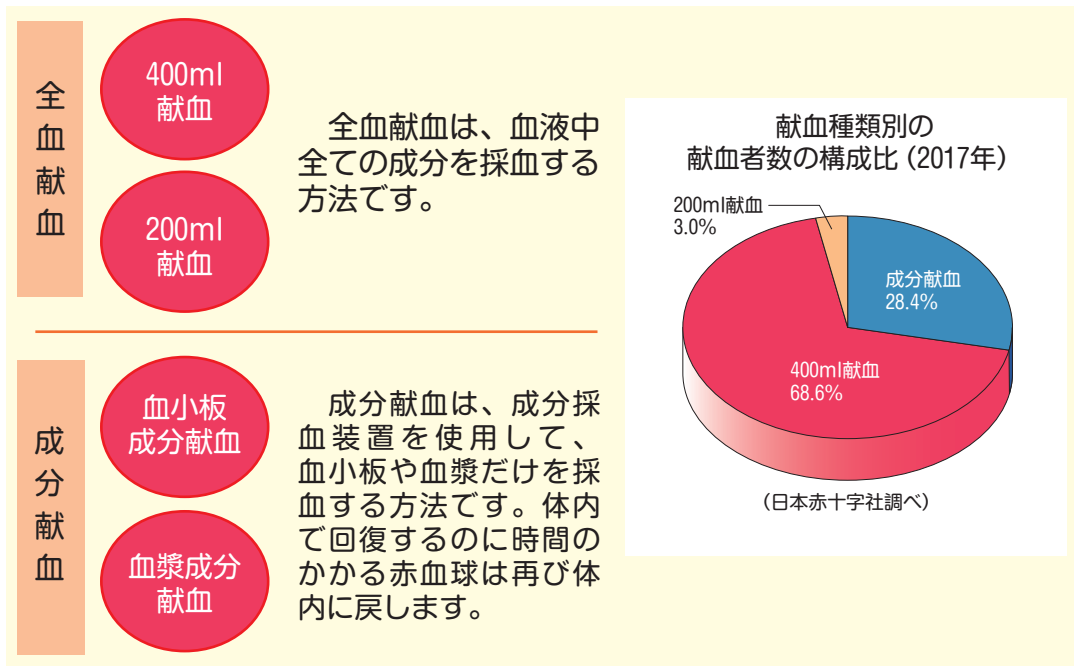
家族や友達に「献血」について話したり、SNSで拡散したり、献血の呼びかけを行う献血推進ボランティアに参加したりするなど、様々な献血への参加の仕方があります。あなたの献血に対する思いが誰かを救うきっかけとなります。ぜひご協力をお願いいたします。

【教員の皆様へ】
参考資料(20頁)をご参照ください

■献血の種類

献血には4つの種類があります。

献血で集められた血液は、使用目的に合った製剤となって、患者さんのもとに届きます。



■採血基準

この採血基準に当てはまる場合に献血ができます。(問診などの結果では献血できないこともあります。)

これは、献血者の健康を保護するために設定されています。

16歳から献血できるっち!



【教員の皆様へ】
参考資料(21頁)をご参照ください

採血基準の主なもの

		200ml献血	400ml献血	成分献血
年齢	男	16歳から	17歳から	18歳から
	女		18歳から	
体重	男	45kg以上	50kg以上	45kg以上
	女	40kg以上		40kg以上

献血の手順

① 献血受付



受付確認票に記入します。
また、本人確認のため、ご自身を証明できるものを提示します。

⑤ 採血



採血ベッドに横になって、採血を開始します。

② 質問への回答



献血する方の安全と、輸血を受ける患者さんの安全のために、質問に正確に回答します。

⑥ 休憩



献血後は、休憩場所で十分に水分補給をしていただき、少なくとも10分以上は、休憩をしてください。

③ 健康診断



回答いただいた内容に基づき、問診や血圧測定等を行い、採血の可否は医師が判断します。問診内容のプライバシーは厳守されます。

⑦ 献血カードの受取



献血カードを受け取ります。今後の献血記録になりますので、大切に保管してください。

④ ヘモグロビン濃度測定、血液型事前検査



貧血の心配がないか、事前に調べます。成分献血の場合は、血小板の数も調べます。



献血後の注意

気分が悪くなったり、針をさした部位に痛みやしびれが残る場合は、すぐに血液センター職員にお知らせください。



【教員の皆様へ】
参考資料（28頁）をご参照ください

患者さんに血液が届くまで

献 血

献血できる場所は、献血ルームや献血バスなど、全国にたくさんあります。



献血ルーム



献血バス

献血血液

血液センター

①検査

血液型や、ウイルス混入していないかを調べます。



②製剤

血液は成分ごとに分けられ、目的にあった血液製剤がつくられます。



原料血漿

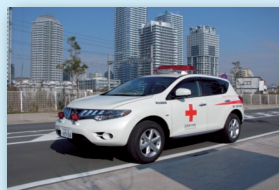
③保管

製剤の種類に応じて、適切な温度で保管しています。



④供給

365日24時間いつでも病院へ届けられるように、準備しています。



血漿分画製剤メーカー

成分ごとに分けられた血液（血漿）の一部は、血漿分画製剤の原料（原料血漿）として血漿分画製剤メーカーへと配分されます。

原料血漿はさらに様々な成分に精製され、20種類以上の血漿分画製剤となります。



主な輸血用血液製剤

赤血球製剤

慢性貧血、外科手術前後の輸血などに使われます。



有効期間
21日

血小板製剤

血小板産生低下による血小板減少症などの場合に使われます。



有効期間
4日

血漿製剤

外傷や外科手術などに使われます。



有効期間
1年

血漿分画製剤 (免疫グロブリン製剤等)



やけど、感染症、血友病の治療のためなどに使われます。

医療機関

血液製剤を必要としている患者さんのもとに届きます。献血で助かる命はたくさんあるのです。



輸血を受けた方々・

血漿分画製剤を使用した方々の声



女優
友寄 蓮 さん

お芝居を始めたのは中学の部活。高校生になっても演技をすることが好きでレッスンに通っていました。そんな高校2年生の秋に「急性リンパ性白血病」と診断されました。

治療中は身体的のみならず、気持ち的にもつらかったです。薬の副作用で、髪の毛もまだらになって抜けていき、顔もむくみ、外見が変わってしまっ。そんな中、支えになったのが担当医や看護師さん。治療のみならず、節分のときは看護師さんが鬼の格好をしてくれたり、クリスマスは研修医の先生がサンタクロースの格好をして病室をまわってくれたり。何より、母はずっと一緒に付き添ってくれました。

そして多くの輸血にも支えてもらいました。輸血前は具合が悪くて意識が遠のくほどふらふらしてしまっている状態でも、輸血を始めるとだんだん体全体が温まってきて、頬がほてるのを感じるんです。「ああ生きているんだな」と実感がありました。

私の体にめぐっているものって、100人以上の方の好意、優しさです。みなさんが献血してくるのおかげで私たち患者はこうして元気に今生きています。



熊谷 知香 さん

中学3年生のときに、急性リンパ性白血病を発症。抗ガン剤治療がはじまると、髪も抜け落ち、激しい頭痛で起き上がることもできない状況に。そんなときにはじめて輸血を受けました。「輸血をすると、ただ単に血液の数値が上がるだけでなく、私の場合は心まで元気になれました。みなさんが献血してくださった血液には、確かに誰かの命を救うことができる力があります。どんなにつらいときも未来を信じて頑張れたのは、私の体の中でずっと支えてくれたみなさんの献血のおかげです。」



三澤 恵利子 さん

はじめての出産の際、準備万端で臨みましたが、医師も驚くほど突然の大量出血により輸血を経験しました。みるみるうちに手足が真っ白になり、パンパンにむくんでいき、半袖でも暑くてしかたないくらいの気温だったはずなのに、気づけば「寒い、寒い」と連呼していました。私にとって献血とは、文字どおり、血の通ったあたたかい贈りものです。あのとき、輸血用の血液がなかったら、私の手は冷たいまま。生まれた子の頭を撫でてあげることもできませんでした。いわばこの子は、みなさんの愛によって生まれた命。いろんな方の優しさとぬくもりに満ちた大切なプレゼントなんです。

息子が3才のとき川崎病と診断され、グロブリン製剤を点滴してもらいました。

今ではとても元気な野球少年です。

いつも元気な息子がうなされている姿を見ると、本当に気が癒してありませんでした。

献血をして下さった方々にはとても感謝しています。

献血がクスリになって治療に役立つことを知り、今まで以上に献血の必要性を感じました。

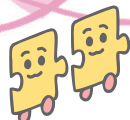
(戸井田 海音(といだ かいと)くんのお父さん)

私の姪は3歳の夏に突然の髄膜炎で死の淵をさまよいました。

小さな命を救ったのは、献血から生まれた「免疫グロブリン」という血漿分画製剤でした。

献血をして下さった方々の善意のお蔭で、姪は幼児教育を目指すバスケット好きな元気で優しい学生へと成長してきました。

献血を取り巻く多くの方々に、心から感謝しています。
(小野 玲子さん(伯母))



学生献血推進ボランティアからのメッセージ



特に若い方に対して、献血の大切さを伝え協力してもらうために積極的に活動を行っている「学生献血推進ボランティア」の方に、献血の大切さを聞きました。

あなたは「献血」と聞いて何を浮かべますか？

「困っている人を助ける」、「記念品が貰える」などのプラスイメージを浮かべる人もいれば、「注射が怖い・痛い」、「貧血になりそう」などのマイナスイメージを浮かべる人もいます。大半はマイナスの方が多いのではないのでしょうか。

「献血」は命を救う身近なボランティアです。近くに献血ルームがあったり、献血バスを見かけたりした場合は、マイナスイメージに臆することなく1度足を運んでみてください。



平成30年度全国学生献血推進実行委員会
委員長
西山 翔太さん

40分、これは一回の全血献血にかかる時間の目安です。皆さんが普段受けている授業よりも短いと思います。40分間で、病気に苦しんでいる誰かの力になれると考えると自分も強くなれるような気がしませんか？

高校生でも16歳以上なら献血できます。この瞬間も輸血を必要とする患者さんは多くいらっしゃいます。皆様のご協力をお待ちしています。



平成30年度全国学生献血推進実行委員会
副委員長
太田 智輝 さん

私は先天性の病気の手術中、大量出血で輸血を受けました。輸血を受けた時の記憶はありませんが、術後、両親から手術の話をした時に輸血のことも聞きました。両親も、「まさか自分の娘が輸血を受けるとは」と言っていました。

大量出血をした時、私は「輸血」で助けられました。もしあの時、輸血が無ければ、今、元気に大学に通うことができなかつたかもしれません。

あなたは「輸血」がどんな時に必要だと思いますか？

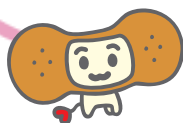
手術中や怪我の大量出血でも必要ですが、ほとんどが病気の治療に使われます。今もなお、「輸血」が必要な患者さんが沢山いらっしゃいます。突然、あなたの大切な人に「輸血」が必要になるかもしれません。

私は輸血経験者の1人、また大学生の1人として神奈川県学生献血推進連盟に所属し、献血の推進活動をしています。

高校生でも16歳以上なら献血にご協力いただけます。あなたの少しの勇気で助かる命があります。命を救う、身近なボランティア「献血」。ご協力をお願いします。



神奈川県学生献血推進連盟
稲村 はづき さん



Q1 採血にかかる時間は？



A

200ml・400ml献血は、**10～15分程度**です。
成分献血は、**40～90分程度**です（採血する量により異なります）。

Q2 献血をして病気になったり、うつることはないの？

心配ありません。献血をして病気になることはありません。
献血をするときに使われる針や採血バッグなどは、献血者一人一人新しいものに交換されます。
だから、他の献血者から病気などがうつることは絶対にありません。

A



Q3 献血をすると、自分の体のことが分かって本当？



A

ご希望の方には、血液検査の結果をお知らせしています。

自分の体の健康状態を把握できますので、病気の早期発見などにも役立っています。

※なお、HIVの検査結果は通知されません。

※エイズ検査は保健所等で無料・匿名で受けられます。

Q4 近くで献血できる場所を調べるには？

日本赤十字社のホームページでは、お近くの献血ルームや献血バス運行予定などを掲載しています。

詳しくは、以下で検索してください。

日本赤十字社 献血

検索



※献血ができる場所については、15～17頁でも紹介しています。

A



Q5 献血するときの注意点は？

A

患者さんに安全な血液製剤をお届けするために、採血基準のほかに、献血できる条件があります。これは、献血者と輸血を受ける患者さんの安全性を考慮したうえで、念のため献血をご遠慮いただいているものです。献血できないからといって、必ずしも不健康というわけではありませので、ご理解をお願いいたします。

以下は主なものですが、不安な方は検診医に相談してください。

薬を飲んでいる

病気や薬の種類によって、献血をご遠慮いただくことがあります。

ビタミン剤などは、内服していても支障ありません。



最近、歯科治療を受けた

3日以内に出血を伴う治療を受けた人は、献血をご遠慮いただいています。



海外に行った



帰国当日から**4週間**以内は、献血をご遠慮いただいています。

また、特定の時期に一定期間イギリスなどへの海外渡航歴がある方については、当分の間献血をご遠慮いただいています。

これは、イギリスを中心に発生した変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）について、牛海綿状脳症（BSE）との関連が強く指摘されており、vCJDの感染経路として、BSE牛の経口摂取や潜伏期間にあるvCJD感染者血液の輸血等が考えられていることから、安全が確認されるまでの当分の間、BSEが発生した欧州諸国に滞在（居住）された方の献血をご遠慮いただいているものです。

献血できないからといって、必ずしも不健康というわけではなく、採血時の検査等で病原体を検出することが現在の科学水準において困難であり、また、血液製剤の製造工程で病原体を完全に不活化・除去する方法が開発されていない状況にかんがみ、予防的措置として実施しているものです。

ピアスの穴をあけた

穴のあけ方によって異なりますが、**1～6カ月**間献血をご遠慮いただいています。

また、唇や口の中、鼻など粘膜を貫通してピアスをしている人は、献血をご遠慮いただいています。

予防接種を受けた



予防接種の種類によって異なりますが、一定期間献血をご遠慮いただいています。

■接種後**24時間**：インフルエンザ、HPV、A型肝炎など

■接種後**2週間**：B型肝炎

Q6 献血した後、すぐに運動してもいいの？

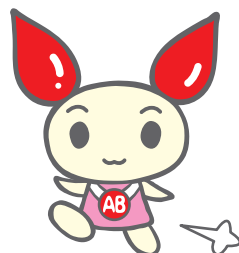
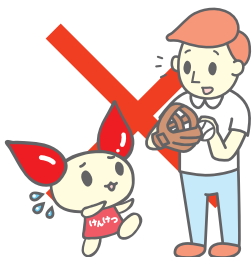
A

休憩が必要です！

献血の後は、休憩場所で十分に水分補給をしていただき、休憩（30分以上）してください。気分不良、めまいなどの体調不良が発生する場合がありますので、運動や、重い荷物を持つことは避けましょう。

もし、献血後にめまいなどがおこったら、転倒防止のため、すぐにしゃがむか、横になってください。

また、何度も献血したことがあっても、毎回、献血後の体調には気をつけてください。



※献血後の体調不良の大部分は軽度のものですが、万が一、献血により健康被害が生じた場合のために、「**献血者健康被害救済制度**」があります。

詳しくはお近くの血液センターにお尋ねください。（血液センターについては18頁をご覧ください）

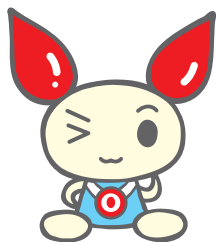
【教員の皆様へ】
平成29年度は、新たに483人についてこの制度が適用されました。
（参考資料29頁）

Q7 400ml も献血して大丈夫なの？

A

採血基準を満たしていれば、安全です！

400ml献血の採血基準を満たしている場合には400ml献血をお願いしていますが、初めての献血で400ml献血に不安がある場合は、200mlでも献血できます。



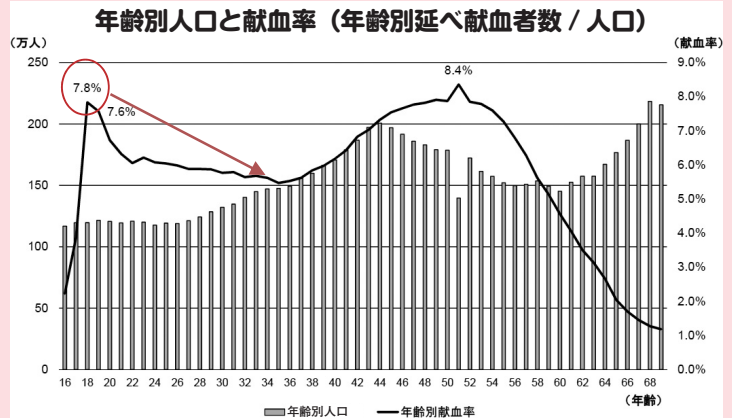
複数回献血のお願い

初めて献血した後も、継続して献血に協力してほしいっち！



平成29年度の年齢別の献血率をみると、18歳で7.8%と高い数値を示していますが、仕事や家事で献血する時間を確保できないなどの理由で20代から30代前半にかけて減少傾向となっています。

患者さんに安定的に血液製剤を届けられるように、一度限りの献血ではなく、複数回献血に協力をお願いします。



項目	全血献血	
	200ml献血	400ml献血
年間献血回数	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内
年間総献血量	200ml献血と400ml献血を合わせて 男性1,200ml以内、女性800ml以内	

献血者の健康を守るため、1人あたりの年間の献血回数や献血量には、上限が設定されています。例えば全血献血の場合には、左図のような上限があります。

安定的に血液を確保するためには、多くの方に継続的にご協力いただくことが必要です。

いつでも確実に患者さんに血液製剤を届けるためには、みんなの協力が必要だっち！



複数回献血ってどうして重要ななの？



より安全な血液を確保するためには、繰り返し血液検査で安全性が確認されている献血歴のある方に継続してご協力いただくことが重要です。

複数回献血クラブ「ラブラッド」のご紹介



「ラブラッド」は、日本赤十字社と献血者をつなぐWeb会員サービスです。安全な献血血液を安定的に確保する事を目的として運用されています。

全国の献血ルームでの献血をスマートフォン・PCから簡単に予約・変更することができます。

ぜひ登録をお願いいたします。

次回献血可能日のお知らせが届く！

血液検査の結果をWebで確認できる！

ポイントを貯めると記念品がもらえる！

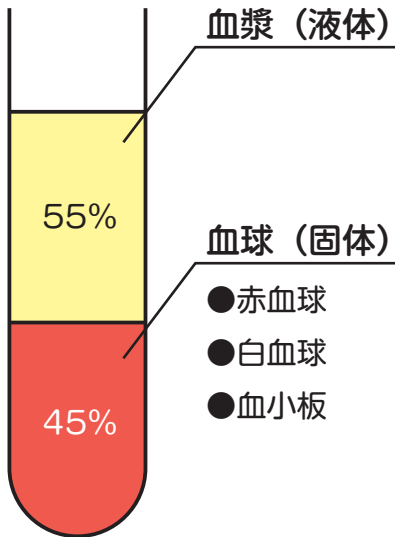
会員限定のキャンペーンや特典情報が届く！



登録はこちらから

■血液の成分

血液は、人間の体に必要な酸素や栄養分を体中に運んでいます。



血漿

- 体内の炭酸ガスを肺へ運び、組織呼吸で空気中に放出
- 栄養分を体の各部に運ぶ
- 老廃物を腎臓から排出

赤血球

- 肺で酸素を取り込んで、体の各部へ運ぶ

O₂ぼうや

赤血球のせっちゃん

白血球

- 体内に侵入した細菌やウイルスを消化・殺菌

白血球のはっちゃん

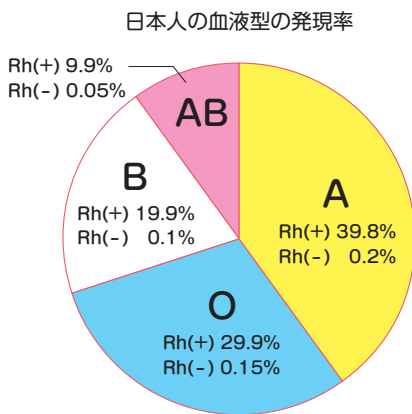
血小板

- 血管が損傷したときに、血管をふさいで出血を止める

血小板のぼんちゃん

■血液型

血液には、いろいろな型があります。



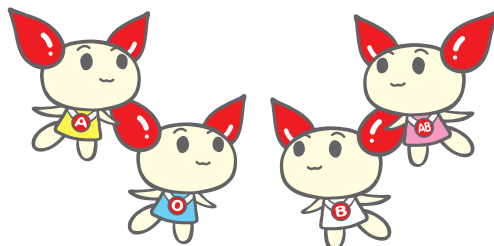
【主な血液型】

■赤血球の型：ABO型、Rh型

■白血球の型：HLA型

輸血をするときは、誰の血液でも良いというわけではありません。

同じ血液型の血液を輸血しないと、重い副作用が生じてしまいます。



下の2つの血液型を合わせて、輸血をします。

ABO 型

Rh 型

“LOVE in Action Meeting (LIVE)”

フォトレポート

若年層へ献血の大切さを伝え、献血への協力を呼びかけるプロジェクトとして2009年より立ち上げられた『LOVE in Action』。6月14日の『世界献血者デー』を盛り上げるべく、2018年で9回目となる『LOVE in Action Meeting (LIVE)』が開催されました。

プロジェクトリーダーの“レモンさん”こと山本シュウさんと、フリーアナウンサーの小林麻耶さんが司会を務める中、本プロジェクトに賛同したアーティストたちによる熱いパフォーマンスが披露されました。イベントの様子はオンラインで生配信され、献血の大切さを全世界に向けて発信しました。



トップバッターを飾ったandropは、平成30年「はたちの献血」キャンペーンソング『Ao』を披露。「僕らの行動で救える命がある。そんな献血のつながりを歌った曲です。最後に一緒につながりませんか。」と呼びかけ、熱いパフォーマンスで観客を魅了しました。



楽器を持たないパンクバンドとして話題のBiSHは、エモーショナルなパフォーマンスで観客を魅了しました。「普段、献血について深く触れることがなかったので、今日は改めて知ることができました。みなさんこの機会に献血に行きましょう！」と献血への参加を呼びかけました。



私立恵比寿中学

私立恵比寿中学は、皆を元気にする全身全霊のパフォーマンスで会場を熱気に包みました。

ライブ終了後には「初めての献血は勇気がいると思います。そして、心も体も元気で健康なことが必要だと思います。私たちのパフォーマンスで笑顔になってくれたら嬉しいです。」と語っていました。

MCトークでは、クイズ形式で献血に関する知識を伝えるとともに、多くの人の協力が必要だと呼びかけました。

また、モデルやタレントとして活躍する友寄蓮さんが登壇し、受血者としての経験談を披露。壮絶な闘病生活について振り返るとともに、「心が折れたときに、100人以上の血液で生かされているんだと思ったら、頑張らないと」と力強く語りました。



ダンスパート

ダンスパートでは、「第11回日本高校ダンス部選手権 新人戦」でLOVE in Action 特別賞を受賞した「大同大学大同高等学校」「神戸大学附属中等教育学校」「山村国際高等学校」の3校が豪快なパフォーマンスを披露。

気合いの溢れる熱いダンスに、会場からは大きな拍手が送られました。



献血ができる場所一覧①

(平成30年10月31日現在)

都道府県	ルーム名(通称)	〒	住所	TEL
北海道	北海道赤十字血液センター	063-0802	札幌市西区二十四軒2条1-1-20	011-613-6121
北海道	大通献血ルーム	060-0042	札幌市中央区大通西4-6-1 札幌大通西4ビル11F	011-271-6381
北海道	アスティ献血ルーム	060-0004	札幌市中央区北4条西5-1 アスティ45ビル7F	011-200-4545
北海道	新さっぽろ献血ルーム	004-0052	札幌市厚別区厚別中央2条5-6-2 DUO1 B1F	011-895-2555
北海道	北彩都あさひかわ献血ルーム	070-0030	旭川市宮下通7-2-5 イオンモール旭川駅前4F	0120-128-343
北海道	ぶらっと946献血ルーム	084-0910	釧路市昭和中央4-18-1 イオンモール釧路昭和1F	0154-64-9461
北海道	帯広すずらん献血ルーム	080-0807	帯広市東7条南9-13-4	0155-25-0101
北海道	函館事業所	040-0022	函館市日乃出町23-8	0138-56-2211
青森県	青森献血ルーム	030-0861	青森市長島1-3-1	017-722-7003
青森県	弘前献血ルームCoCoSA	036-8003	弘前市大字駅前町8-1 大町タウンビル2F	0172-39-7711
岩手県	もりおか献血ルーム メルシー	020-0022	盛岡市大通り2-3-7 CT33ビル4F	0120-13-3343
宮城県	社の都献血ルームAOBA	980-0811	仙台市青葉区一番町4-9-18 TICビル6F	022-738-9101
宮城県	献血ルーム エエル20	980-6120	仙台市青葉区中央1-3-1 AER 20F	022-711-2090
秋田県	献血パーク・るうぷ	010-0941	秋田市川尻町字大川反233-186	018-865-5541
秋田県	アトリオン献血ルーム	010-0001	秋田市中通2-3-8 アトリオンビル1F	018-836-7811
山形県	献血ルーム SAKURAMBO	990-0039	山形市香澄町2-2-36	023-629-8720
福島県	福島県赤十字血液センター	960-1198	福島市永井川字北原田17	024-544-2550
福島県	郡山駅前献血ルーム	963-8002	郡山市駅前1-6-10 ダイワロイネットホテル郡山駅前3F	024-925-2638
福島県	いわき出張所	970-8044	いわき市中央台飯野5-1-1	0246-29-5624
福島県	会津出張所	965-0003	会津若松市一箕町大字八幡字門田1-2	0242-24-6650
茨城県	献血ルームMEET	310-0015	水戸市宮町1-7-31 水戸駅ビルエクセルみなみ6F	029-224-9226
茨城県	つくば献血ルーム	305-0031	つくば市吾妻1-10-1 つくばセンタービル2F	029-852-7888
栃木県	栃木県赤十字血液センター	321-0192	宇都宮市今宮4-6-33	028-659-0111
栃木県	うつのみや大通り献血ルーム	320-0811	宇都宮市大通り2-1-5 明治安田生命ビル1F	028-632-1131
群馬県	高崎駅献血ルーム Harmony	370-0849	高崎市八島町222 JR高崎駅東口3Fイーサイト内	0120-80-5870
群馬県	前橋献血ルーム	371-0805	前橋市南町3-9-5 大同生命ビル1F	0120-80-5871
群馬県	太田献血ルーム	373-0817	太田市飯塚町1549-2	0120-80-5872
埼玉県	大宮献血ルーム ウエスト	330-0854	さいたま市大宮区桜木町2-4-1 DOM PARTⅡ 5・6F	0120-077-979
埼玉県	越谷レイクタウン献血ルーム	343-0828	越谷市レイクタウン3-3-1 イオンレイクタウンmori1F	0120-137-379
埼玉県	所沢プロベ通り献血ルーム	359-1123	所沢市日吉町10-19 Tokorozawa exビル2F	0120-042-927
埼玉県	川越クレアモール献血ルーム	350-1122	川越市脇田町4-2 川越モディ4F	0120-049-225
埼玉県	鴻巣献血ルーム	365-0028	鴻巣市鴻巣405-4 埼玉県運転免許センター内	0120-048-543
埼玉県	熊谷駅献血ルーム	360-0037	熊谷市筑波2-112 JR熊谷駅構内	0120-789-581
埼玉県	川口駅献血ルーム	332-0017	川口市栄町3-1-24 川口駅東口ビル3F	0120-353-611
千葉県	モノレールちば駅献血ルーム	260-0031	千葉市中央区新千葉1-1-1 千葉都市モノレール千葉駅構内	043-224-0332
千葉県	運転免許センター献血ルーム	261-0025	千葉市美浜区浜田2-1 千葉運転免許センター内	043-276-3641
千葉県	津田沼献血ルーム	274-0825	船橋市前原西2-19-1 津田沼パルコB館6F	047-493-0322
千葉県	献血ルーム フェイス	273-0005	船橋市本町1-3-1 フェイスビル7F	047-460-0521
千葉県	松戸献血ルームPure	271-0092	松戸市松戸1307-1 松戸ビル1F	047-703-1006
千葉県	柏献血ルーム	277-0005	柏市柏2-2-3 榎本ビル5F	04-7167-8050
東京都	都庁献血ルーム	160-0023	新宿区西新宿2-8-1 都議会議事堂地下1F	03-3343-2231
東京都	新宿西口献血ルーム	160-0023	新宿区西新宿1 西口地下街1号	03-3348-1211
東京都	献血ルーム新宿ギフト	160-0022	新宿区新宿3-18-1 丸井新宿東口ビル9F	03-6380-0331
東京都	新宿東口駅前献血ルーム	160-0022	新宿区新宿3-25-1 ヒューリック新宿ビル10F	03-6380-0635
東京都	八チ公前献血ルーム	150-0043	渋谷区道玄坂2-3-2 大外ビル6F	03-3476-2880
東京都	献血ルーム 池袋い〜すと	170-0013	豊島区東池袋1-1-4 タカセセントラルビル8F	03-3988-9000
東京都	献血ルーム 池袋ぶらっと	170-0013	豊島区東池袋1-12-8 池袋フジキビル3F	03-5950-3000
東京都	有楽町献血ルーム	100-0006	千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館6F	03-3213-8666
東京都	akiba:F 献血ルーム	101-0021	千代田区外神田1-16-9 朝風二号館ビル5F	03-3251-8201
東京都	献血ルーム feel	131-0045	墨田区押上1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ10F	03-6456-1972
東京都	献血ルーム 吉祥寺タキオン	180-0004	武蔵野市吉祥寺本町1-15-2 ダイアパローレビル8F	0422-21-9000
東京都	立川献血ルーム	190-0012	立川市曙町2-7-17 丸井・井上共同ビル地下1F	042-527-1140
東京都	まちだ献血ルームcomfy	194-0013	町田市原町田6-3-3 町映ビル7F	042-732-8494
神奈川県	横浜駅東口クロスポート献血ルーム	220-0011	横浜市西区高島2-13-2 横浜駅前共同ビル7F	045-444-1088
神奈川県	横浜Leaf献血ルーム	220-0004	横浜市西区北幸1-6-1 横浜ファーストビル14F	045-534-7173
神奈川県	横浜駅西口献血ルーム	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 TSプラザビル1F	045-314-7082
神奈川県	二俣川献血ルーム	241-0815	横浜市旭区中尾1-1-2	045-361-0330
神奈川県	かわさきルフロン献血ルーム	210-0024	川崎市川崎区日進町1-11 川崎ルフロン9F	044-245-1857
神奈川県	みぞのくち献血ルーム	213-0001	川崎市高津区溝口1-3-1 NOCTYプラザ1 10F	044-813-0311
神奈川県	クロスウェーブ湘南藤沢献血ルーム	251-0055	藤沢市南藤沢21-8 大安興業ビル2F	0466-25-8877
神奈川県	本厚木献血ルーム	243-0018	厚木市中町2-8-13 TPR厚木ビル1F	046-225-7001
新潟県	献血ルームばんだいでいとろ	950-0088	新潟市中央区万代1-4-33 損保ジャパン・新潟セントラルビル2F	0120-86-9950
新潟県	献血ルーム 千秋	940-2108	長岡市千秋2-1087-1 リバーサイド千秋 センタープラザ2F	0120-05-6339
山梨県	甲府献血ルーム グレーブ	400-0031	甲府市丸の内1-16-20 Kokoriビル2F	055-235-3135
長野県	長野献血ルーム	380-0834	長野市鶴賀商御所町1271-3 TOiGO WEST 2F	026-219-2480

献血ができる場所一覧②

(平成30年10月31日現在)

都道府県	ルーム名(通称)	〒	住所	TEL
長野県	松本献血ルーム サントビューネ	390-0811	松本市中央1-8-11 セントラル松本中央ビル2F	0263-37-1600
長野県	諏訪出張所	392-0007	諏訪市清水3-3840-1	0266-53-7211
富山県	マリエ献血ルーム	930-0003	富山市桜町1-1-61 マリエとやま6F	076-445-4500
石川県	献血ルーム ル・キューブ	920-0909	金沢市袋町1-1 かなざわはこまち3F	076-220-1655
石川県	献血ルーム くらつき	920-8201	金沢市鞍月東1-1	076-237-3745
福井県	献血ホール いぶき	918-8011	福井市月見3-3-23	0776-36-0221
岐阜県	あかなべ献血ルーム	500-8269	岐阜市茜部中島2-10	058-272-6911
岐阜県	新岐阜献血ルーム	500-8175	岐阜市長住町2-3 岐阜ビル5F	058-264-2122
静岡県	献血ルーム・あおば	420-0035	静岡市葵区七間町8-20 毎日江崎ビル6F	054-272-5858
静岡県	献血ルーム・柿田川	411-0907	駿東郡清水町伏見58-26 スポウエル健身塾2F	055-991-7575
静岡県	献血ルーム・みゅうず	430-0928	浜松市中区板屋町110-5 浜松第一生命日通ビル1F	053-413-2070
愛知県	愛知県赤十字血液センター	489-8555	瀬戸市南山口町539-3	0561-84-1131
愛知県	愛知県赤十字血液センター豊橋事業所	441-8083	豊橋市東脇3-4-1	0532-32-1331
愛知県	献血ルームタワーズ20	450-6020	名古屋市中村区名駅1-1-4 JRセントラルタワーズ20F	052-571-1002
愛知県	献血ルームゲートタワー26	450-6626	名古屋市中村区名駅1-1-3 JRゲートタワー26F	052-589-2229
愛知県	栄献血ルーム	460-0008	名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスビル9F	052-242-7030
愛知県	大須万松寺献血ルーム	460-0011	名古屋市中区大須3-30-40 万松寺ビル1F	052-251-7161
愛知県	豊田献血ルーム	471-8520	豊田市若宮町1-57-1 A館T-FACE 9F	0565-35-4480
愛知県	岡崎献血ルーム	444-0864	岡崎市明大寺町字寺東1-1 名鉄東岡崎駅南館5F	0564-52-1800
三重県	三重県赤十字血液センター	514-0003	津市桜橋2-191	0120-05-5632
三重県	四日市献血ルーム サンセリテ	510-0086	四日市市諏訪栄町6-4 近鉄四日市駅前スターアイランド4F	0120-39-5863
三重県	伊勢献血ルーム ハートワン	516-0008	伊勢市船江1-471-1 ミタス伊勢内	0120-25-7821
滋賀県	滋賀県赤十字血液センター	525-8505	草津市笠山7-1-45	077-564-6311
滋賀県	びわ湖草津献血ルーム	525-0025	草津市西渋川1-1-14 行岡第一ビル6F	0120-007-932
京都府	献血ルーム 四条	600-8006	京都市下京区四条通柳馬場西入ル立売中之町99 四条SETビル5F	075-231-5011
京都府	献血ルーム 京都駅前	600-8216	京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町735 京阪京都ビル6F	075-361-9333
京都府	献血ルーム 伏見大手筋	612-8053	京都市伏見区東大手町763 若由ビル1F	075-603-1350
大阪府	大阪府赤十字血液センター	536-8505	大阪市城東区森之宮2-4-43	0120-32-6759
大阪府	阪急グランドビル25献血ルーム	530-0017	大阪市北区角田町8-47 阪急グランドビル25F	0120-37-6759
大阪府	西梅田献血ルーム	530-0001	大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー10F	0120-31-6759
大阪府	あべの献血ルーム KiZooNa	545-0052	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-3-21 岸本ビル3F	0120-36-6759
大阪府	御堂筋献血ルーム CROSS CAFÉ	542-0086	大阪市中央区西心斎橋1-4-5 御堂筋ビル地下1F	0120-27-6759
大阪府	まいどなんば献血ルーム	542-0076	大阪市中央区難波4-4-4 難波御堂筋センタービル4F	0120-29-6759
大阪府	門真献血ルーム	571-0033	門真市一番町23-16 門真運転免許試験場 別館1F	0120-35-6759
大阪府	南大阪事業所	597-0062	堺市市沢356-1	0120-73-6759
大阪府	堺東献血ルーム	590-0076	堺市堺区北瓦町2-4-18 現代堺東駅前ビル5F	0120-38-6759
大阪府	阪急茨木市駅献血ルーム	567-0816	茨木市永代町1-5 阪急コサヴィア1F	0120-34-6759
大阪府	京阪枚方市駅献血ルーム	573-0032	枚方市岡東町19-1	0120-33-6759
兵庫県	ミント神戸15献血ルーム	651-0096	神戸市中央区雲井通7-1-1 ミント神戸15F	078-242-6360
兵庫県	三宮センタープラザ献血ルーム	650-0021	神戸市中央区三宮町2-11-1 センタープラザ西館3F	078-391-7070
兵庫県	新長田駅前献血ルーム	653-0038	神戸市長田区若松町5-2-1-007号 アスタプラザファースト地下1F	078-641-6300
兵庫県	明石運転免許試験場献血ルーム	673-0857	明石市北朝霧丘2-13-7	078-914-8192
兵庫県	塚口さんさんタウン献血ルーム	661-0012	尼崎市南塚口町2-1-2-3-12 塚口さんさんタウン2番館3F	06-6429-1411
兵庫県	姫路みゆき献血ルーム	670-0927	姫路市駅前町241 フェスタビル北館4F	079-288-5718
兵庫県	にしきた献血ルーム	663-8035	西宮市北口町1-1 アクタ西宮西館2F	0798-56-7901
奈良県	奈良県赤十字血液センター	639-1123	大和郡山市筒井町600-1	0743-56-5916
奈良県	近鉄奈良駅ビル 献血ルーム	630-8215	奈良市東向中町28 奈良近鉄ビル6F	0742-22-2122
和歌山県	和歌山駅前献血ルーム	640-8331	和歌山市美園町5-1-2 新橋ビル5F	073-427-2770
鳥取県	鳥取県赤十字血液センター	680-0901	鳥取市江津370-1	0857-24-8101
鳥取県	献血ルームひえづ	689-3553	西伯郡日吉津村日吉津1160-1 イオンモール日吉津東館1F	0859-27-1724
島根県	献血ルームだんだん	690-0882	松江市大輪町420-21	0120-23-9469
岡山県	献血ルーム うちら	700-0012	岡山市北区いずみ町3-36	086-256-6565
岡山県	献血ルーム ももたろう	700-0822	岡山市北区表町1-5-1 岡山シンフォニービル1F	086-225-6301
広島県	献血ルーム もみじ	730-0035	広島市中区本通6-11 明治安田生命広島本通ビル1・2F	082-248-6034
広島県	献血ルーム ピース	730-0031	広島市中区紙屋町2-3-20 SOCIO SQUARE KAMIYACHO 4F	082-248-1230
広島県	献血ルーム ばら	720-0066	福山市三之丸町9-16 山陽第2ビル4F	084-927-8140
山口県	山口県赤十字血液センター	753-8534	山口市野田字野田172-5	083-922-6866
徳島県	献血ルーム アミコ	770-0834	徳島市元町1-24 アミコビル3F	0120-688-950
香川県	献血ルーム オリーブ	760-0029	高松市丸亀町13-3 丸亀町参番街東館3F	0120-34-2307
愛媛県	大街道献血ルーム	790-0004	松山市大街道1-4-17	089-932-0900
高知県	ハートピアやまもも	780-0870	高知市本町1-1-3 朝日生命高知本町ビル2F	0120-86-2553
福岡県	献血ルーム ハッピークロス イムズ	810-0001	福岡市中央区天神1-7-11 イムズビル8F	092-726-1188
福岡県	献血ルーム キャナルシティ	812-0018	福岡市博多区住吉1-2-25 キャナルシティ ビジネスセンタービル1F	092-272-5853
福岡県	献血ルーム おっしょい博多	812-0012	福岡市博多区博多駅中央街2-1 博多パスターミナル8F	092-476-1400

献血ができる場所一覧③

(平成30年10月31日現在)

都道府県	ルーム名(通称)	〒	住所	TEL
福岡県	献血ルーム 魚町銀天街	802-0006	北九州市小倉北区魚町1-3-3 白樺ビル1F	093-551-1211
福岡県	献血ルーム くらさきクローバー	806-0036	北九州市八幡西区西曲里町3-1 イオンタウン黒崎1F	093-644-1211
佐賀県	献血プラザさが	849-0925	佐賀市八丁畷町10-20	0952-32-1011
長崎県	献血ルーム 西海	857-0872	佐世保市上京町6-16 オレンジアベニュービル5F	0956-25-2440
長崎県	献血ルーム はまのまち	850-0853	長崎市浜町8-10 多真喜ビル3F	095-824-3332
熊本県	日赤プラザ献血ルーム	861-8039	熊本市東区长嶺南2-1-1	096-384-6727
熊本県	下通り献血ルームCOCOSA	860-0807	熊本市中央区下通1-3-8 下通NSビル5F	096-325-9218
大分県	献血ルーム・わたん	870-1198	大分市大字玉沢字楠本755-1 トキハわさだタウン3街区2F	097-574-6822
宮崎県	献血ルーム カリーノ	880-0805	宮崎市橋通東4-8-1 カリーノ宮崎3F	0985-23-0007
鹿児島県	献血プラザかもいけクロス	890-0064	鹿児島市鴨池新町1-5	099-257-3141
鹿児島県	献血ルーム・天文館	892-0842	鹿児島市東千石町13-16 天文館ビル2F	099-222-6511
沖縄県	くもじ献血ルーム	900-0015	那覇市久茂地1-3-1 セントラルビル3F	098-864-0368



献血ルームや献血バスの運行についての最新の情報は、日本赤十字社のホームページをご覧ください。

詳しくは、以下で検索してください。

日本赤十字社 献血

検索



血液センター所在地一覧

(平成30年10月31日現在)

	〒	住所	TEL
北海道	063-0802	札幌市西区二十四軒2条1-1-20	011-613-6121
青森県	030-0966	青森市花園2-19-11	017-741-1511
岩手県	020-0831	盛岡市三本柳6-1-6	019-637-7200
宮城県	981-3206	仙台市泉区明通2-6-1	022-290-2501
秋田県	010-0941	秋田市川尻町字大川反233-186	018-865-5541
山形県	990-0023	山形市松波1-18-10	023-622-5301
福島県	960-1198	福島市永井川字北原田17	024-544-2550
茨城県	311-3117	東茨城郡茨城町桜の郷3114-8	029-246-5566
栃木県	321-0192	宇都宮市今宮4-6-33	028-659-0111
群馬県	379-2154	前橋市天川大島町2-31-13	027-224-2118
埼玉県	337-0003	さいたま市見沼区大字深作955-1	048-684-1511
千葉県	274-0053	船橋市豊富町690	047-457-0711
東京都	162-8639	新宿区若松町12-2	03-5272-3511
神奈川県	222-0032	横浜市港北区大豆戸町680-7	045-834-4611
新潟県	951-8127	新潟市中央区関屋下川原町1-3-12	025-230-1700
山梨県	400-0062	甲府市池田1-6-1	055-251-5891
長野県	381-2214	長野市稲見町牧1288-1	026-214-8070
富山県	930-0821	富山市飯野26-1	076-451-5555
石川県	920-0345	金沢市藤江北4-445	076-254-6300
福井県	918-8011	福井市月見3-3-23	0776-36-0221
岐阜県	500-8269	岐阜市西部中島2-10	058-272-6911
静岡県	420-0881	静岡市葵区北安東4-27-2	054-247-7141
愛知県	489-8555	瀬戸市南山口町539-3	0561-84-1131
三重県	514-0003	津市桜橋2-191	059-229-3580
滋賀県	525-8505	草津市笠山7-1-45	077-564-6311
京都府	612-8451	京都市伏見区中島北ノ口町26	075-603-8800
大阪府	536-8505	大阪市城東区森之宮2-4-43	06-6962-7001
兵庫県	651-0073	神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5	078-222-5011
奈良県	639-1123	大和郡山市筒井町600-1	0743-56-5916

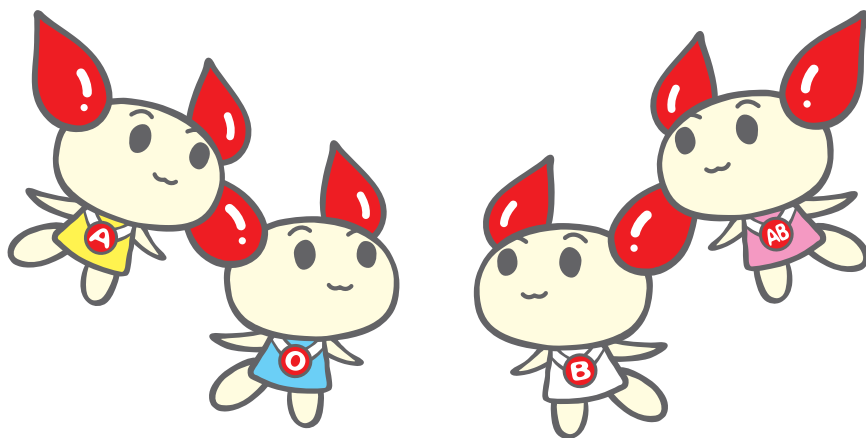
	〒	住所	TEL
和歌山県	649-6322	和歌山市和佐関戸118-5	073-499-7724
鳥取県	680-0901	鳥取市江津370-1	0857-24-8101
島根県	690-0882	松江市大輪町420-21	0852-23-9467
岡山県	700-0012	岡山市北区いずみ町3-36	086-255-1211
広島県	730-0052	広島市中区千田町2-5-5	082-241-1246
山口県	753-8534	山口市野田字野田172-5	083-922-6866
徳島県	770-0044	徳島市庄町3-12-1	088-631-3200
香川県	761-8031	高松市郷東町字新開587-1	087-881-1500
愛媛県	791-8036	松山市高岡町80-1	089-973-0700
高知県	780-8010	高知市棧橋通6-7-44	088-833-6666
福岡県	818-8588	筑紫野市上古賀1-2-1	092-921-1400
佐賀県	849-0925	佐賀市八丁畷町10-20	0952-32-1011
長崎県	852-8145	長崎市昭和3-256-11	095-843-3331
熊本県	861-8039	熊本市東区長嶺南2-1-1	096-384-6000
大分県	870-0889	大分市大字荏隈717-5	097-547-1151
宮崎県	880-8518	宮崎市大字恒久885-1	0985-50-1800
鹿児島県	890-0064	鹿児島市鴨池新町1-5	099-257-3141
沖縄県	902-0076	那覇市与儀1-4-1	098-833-4747

ボランティアを募集しています。

血液センターでは、イベントの実施や献血会場での呼びかけ、
 接遇などを手伝っていただける方を募集しています。

詳しくはお近くの血液センターまでお気軽にお問い合わせください。

參 考 資 料 編



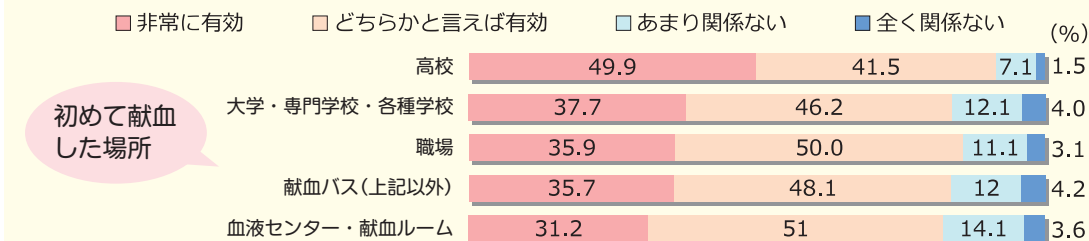
高校生に対する献血推進が重要です。

① これからの日本社会の人口動態を考慮すると、献血可能人口は減少すると推定されます。血液製剤は医療に無くてはならないものですので、血液が足りなくなると患者さんに届けられない、という事態はどうしても避けなければなりません。

そのため、これからの社会を支える若年層の献血者をいかに増やすかが喫緊の課題となっています。

② 厚生労働省が献血経験者を対象に実施した調査では、多くの人（特に、初回献血が高校だった人）が「高校での献血がその後の献血への動機付けに有効」と考えていることがわかりました（下図参照）。

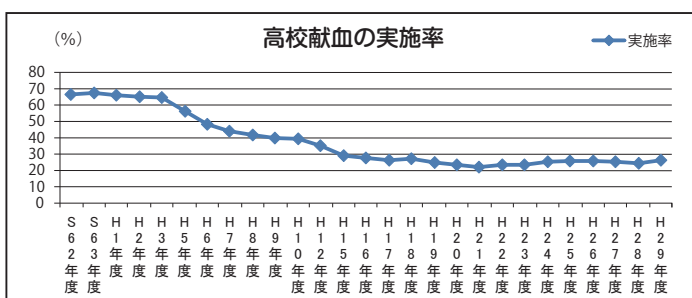
Q. 高校での集団献血が、その後の献血への動機付けとなるか



少しでも献血に触れ合える機会を生徒に提供してください。

献血バスが出向いて実施された高校献血は昔、実施率が約6割ととても盛んに行われておりましたが、徐々に減少し、現在では2割～3割程度にまで落ち込んでいます。

この高校献血の減少によって、学生たちは献血に触れ合う機会自体が減ってきています。



献血については、平成21年7月に改訂された「高等学校学習指導要領解説／保健体育編」に「献血の制度があることについても適宜触れる」ことが追記され、平成25年度から高等学校の授業で触れられる環境が整いました。

献血受入を行っている日本赤十字社では、献血のきっかけづくりや、将来にわたって献血にご協力いただくための取組として、学校に出向いての「献血セミナー」（スライド・映像やパンフレットを用いた学習講座）を積極的に実施しております。

詳しくは、最寄りの血液センターへお問い合わせください。



採血基準※1

項目	全血献血		成分献血	
	200ml献血	400ml献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1回献血量	200ml	400ml	600ml以下（体重別）	
年齢	16歳～69歳 ^{※2}	男性17歳～69歳 ^{※2} 女性18歳～69歳	18歳～69歳 ^{※2}	男性18歳～69歳 ^{※2} 女性18歳～54歳
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも 50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上			
血色素量 （ヘモグロビン濃度）	男性 12.5g/dl以上 女性 12g/dl以上	男性 13g/dl以上 女性 12.5g/dl以上	12g/dl以上 <small>（赤血球指数が標準域にある女性は11.5g/dl以上）</small>	12g/dl以上
血小板数	———	———	———	15万/μl以上
年間献血回数 ^{※3※4}	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	
年間総献血量 ^{※3※4}	200ml献血と400ml献血を合わせて 男性1,200ml以内、女性800ml以内		———	———
共通事項	次の者からは採血しない ① 妊娠していると認められる者、又は過去6ヵ月以内に妊娠していたと認められる者 ② 採血により悪化するおそれのある循環器系疾患、血液疾患、その他の疾患にかかっていると認められる者 ③ 有熱者その他健康状態が不良であると認められる者			

※1 採血基準は、献血にご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、医師が問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※2 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

※3 期間の計算は採血を行った日から起算します。

※4 1年は52週として換算します。

（献血の間隔）※5

前回の献血	全血献血		成分献血	
	200ml献血	400ml献血	血漿成分献血	血小板成分献血 ^{※6}
200ml献血	男女とも4週間後の同じ曜日			
400ml献血	男性は12週間後、女性は16週間後の 同じ曜日		男女とも8週間後の同じ曜日	
血漿成分献血	男女とも2週間後の同じ曜日			
血小板成分献血				

※5 期間の計算は献血を行った日から起算します。

※6 血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

献血いただく前に

献血される方の安全と患者さんが安心して輸血を受けられるよう、受付確認票に記入する前に、「お願い!」パンフレットが渡されます。輸血を受ける患者さんに安全な血液製剤を届けるため、また、安全に献血するために以下は重要な内容ですので、生徒に指導する際の参考にしてください。

献血いただく前に

献血いただく前に、これをよく読んでいただき、了解された上でご記入いただきます。

●献血前に

- お名前、生年月日、住所、電話番号などは正確にお書きください。
- ご本人の確認のため、運転免許証などの提示をお願いします。
- 問診項目には正確にお答えください。事実と異なる回答をされた場合、輸血を受けた患者さんに深刻な状況をもたらす場合があります。
- プライバシーは法令を遵守し、適正に取り扱います。
- 献血後に高所作業や激しいスポーツ、自動車の運転等をされる方は献血前にお知らせください。特に乗り物の運転をされる方は、献血後に十分な休憩(30分以上)をおとりください。
- 献血に伴う副作用予防のため、献血前に水分(スポーツドリンクなど)を補給してください。

●献血時は

- 200ml・400ml 献血では10分から15分程度、成分献血では体重等に応じて採血する量(上限600mLまで)が異なりますので、40分から90分程度の採血時間がかかります。
- 血圧や血色素量(ヘモグロビン濃度)を事前に測定します。
- 採血針や採血バッグなどは、お一人ずつ使い捨てとなっています。

●採血副作用と注意

採血中や採血後に、気分不良、吐き気、めまい、失神などが約0.9%(1/100人)、針を刺すことによる皮下出血が約0.2%(1/500人)、神経損傷(脱力や痛み)が約0.01%(1/10,000人)程度の頻度で発生します。また、失神に伴う転倒がまれに発生する場合があります。

- 採血針を刺した箇所針跡が残ることがあります。
- 針を刺した時に、強い痛みやしびれがある場合は、すぐに職員にお知らせください。また、皮下出血等も我慢せずにお知らせください。
- 採血中に気分不良やめまいを起こした場合は、立ち上がりず、そのままの姿勢ですぐに職員にお知らせください。また、採血後に同様の症状を起こした場合は転倒を防止するために、すぐにしゃがむか横になってください。
- 献血によって健康被害が生じた場合、医療費等を補償する献血者健康被害救済制度がもうけられています。くわしくは、血液センター職員にお尋ねください。

●献血いただいた血液は

- ごくまれに献血いただいた血液が採血装置などの不具合・不良により輸血に使用できなくなることがあります。
- 次の検査を実施し、すべてが輸血に適すると判断された場合のみ輸血に使用します。
 - ・血液型(ABO型、Rh型、HLA遺伝子型等)、不規則抗体、梅毒、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、エイズウイルス、HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス-1型)、ヒトパルボウイルスB19、ALT(肝機能)
- 必要により、赤血球型、白血球型、血小板型や血漿蛋白の遺伝子検査を行う場合があります。なお、その他の遺伝子検査が必要な場合はあらかじめご本人の承諾を得て行います。
- 献血いただいた血液の一部は、輸血副作用・感染症などの調査のために少なくとも11年間冷凍保管しています。
- 献血いただいた血液は、血液製剤の有効性・安全性の向上と検査法の向上のための研究や、安全な輸血のための検査試薬の製造など、輸血用以外の目的に有効活用させていただくことがあります。

献血を希望する際は、全員、質問事項に正しく回答する必要があります。

問診は、感染直後から抗原または抗体が検出できるまでの感染の事実を検知できない期間（ウインドウ期）などにおいて実施可能な、検査の限界を補う唯一の方法です。

献血者は、献血の方法や危険性などを理解することはもちろん、問診の意義や目的を正しく理解し、患者に安全な血液製剤を提供するために「安全で責任ある献血」をすることが必要です。

質問事項

1	今日の体調は良好ですか。	13	今までに次の病気にかかったことがありますか。 C型肝炎、梅毒、マラリア、パペシア症、シャーガス病、リーシュマニア症、アフリカトリパノソーマ症
2	3日以内に出血を伴う歯科治療（抜歯、歯石除去等）を受けましたか。	14	海外から帰国（入国）して4週間以内ですか。
3	3日以内に薬を飲んだり、注射を受けましたか。	15	1年以内に外国（ヨーロッパ・米国・カナダ以外）に滞在しましたか。
4	次の育毛薬／前立腺肥大症治療薬を使用しましたことがありますか。 プロペシア・プロスカールなど（1ヵ月以内）、アボダート・アボルブなど（6ヵ月以内）	16	4年以内に外国（ヨーロッパ・米国・カナダ以外）に1年以上滞在しましたか。
5	次の薬を使用しましたことがありますか。 乾せん治療薬（チガソン）、ヒト由来プラセンタ注射薬（ラエンネック・メルスモン）	17	英国に1980年（昭和55年）～1996年（平成8年）の間に通算1ヵ月以上滞在しましたか。
6	24時間以内にインフルエンザの予防接種を受けましたか。	18	ヨーロッパ（英国も含む）・サウジアラビアに1980年以降、通算6ヵ月以上滞在しましたか。
7	1年以内にインフルエンザ以外の予防接種を受けましたか。	19	エイズ感染が不安で、エイズ検査を受けるための献血ですか。
8	次の病気や症状がありましたか。 3週間以内－はしか、風疹、おたふくかぜ、帯状ほしん、水ぼうそう 1ヵ月以内－発熱を伴う下痢 6ヵ月以内－伝染性単核球症、リンゴ病（伝染性紅斑）	20	6ヵ月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。 ①不特定の異性または新たな異性と性的接触があった。 ②男性どうしの性的接触があった。 ③麻薬、覚せい剤を使用した。 ④エイズ検査（HIV検査）の結果が陽性だった（6ヵ月以前も含む）。 ⑤上記①～④に該当する人と性的接触をもった。
9	1ヵ月以内に肝炎やリンゴ病（伝染性紅斑）になった人が家族や職場・学校等にいますか。	21	今までに輸血（自己血を除く）や臓器の移植を受けたことがありますか。
10	6ヵ月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。 ①ピアス、またはいれずみ（刺青）をした。 ②使用後の注射針を誤って自分に刺した。 ③肝炎ウイルスの持続感染者（キャリア）と性的接触等親密な接触があった。	22	今までに次のいずれかに該当することがありますか。 ①クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）または類縁疾患と診断された。 ②血縁者にCJDまたは類縁疾患と診断された人がいる。 ③ヒト由来成長ホルモン注射を受けた。 ④角膜移植を受けた。 ⑤硬膜移植を伴う脳神経外科手術を受けた。
11	1年以内に次の病気等にかかったか、あるいは現在治療中ですか。 外傷、手術、肝臓病、腎臓病、糖尿病、結核、性感染症、ぜんそく、アレルギー疾患、その他	23	現在妊娠中または授乳中ですか。 6ヵ月以内に出産、流産をしましたか。
12	今までに次の病気にかかったか、あるいは現在治療中ですか。 B型肝炎、がん（悪性腫瘍）、血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん		

1

今日の体調は良好ですか。

発熱のある人は、細菌やウイルスが血液中に出てくる（菌血症又はウイルス血症）疑いがあるため、献血してはいけません。

また、献血者の緊張度や体調によっては、採血をしている間にVVR（血管迷走神経反応）などの副作用が起こる可能性があるため、十分に体調を整えて献血することが重要です。

2

3日以内に出血を伴う歯科治療（抜歯、歯石除去等）を受けましたか。

3日以内に出血を伴う歯科治療を受けた人は、口腔内常在菌が血液中に出ている（菌血症）可能性があるため、献血してはいけません。

3

3日以内に薬を飲んだり、注射を受けましたか。

抗生物質や鎮痛解熱剤を服用又は注射された人は、献血してはいけません。感染症を起こしていたり、薬物が血小板の機能に悪影響を及ぼしたりする可能性があるからです。

その他の薬物を服用している場合でも、病気や薬の影響により献血できない場合があります。

4

次の育毛薬／前立腺肥大症治療薬を使用したことがありますか。

プロペシア・プロスカーなど（1ヵ月以内）、
アボダート・アボルブなど（6ヵ月以内）

アンチアンドロゲン系ホルモン剤であるこれらの薬剤は、胎児に対する催奇形性が指摘されているため、**プロペシア・プロスカーなどは服用後1ヵ月間、アボダート・アボルブなどは服用後6ヵ月間献血してはいけません。**

プロスカー及びアボダートは日本では医薬品として未承認ですが、育毛薬として個人輸入し、服用（経口）している人がいます。また、アボダートと同様の成分（dutasteride）を含むデュタスや、プロペシアと同様の成分（finasteride）を含むフィンペシア、フィンカーなどのジェネリック医薬品も同様の扱いとなります。

5

次の薬を使用したことがありますか。

乾せん治療薬（チガソン）
ヒト由来プラセンタ注射薬（ラエンネック・メルスモン）

乾せんの治療に用いられる**チガソン**は、米国（FDA）の基準にある採血禁忌薬剤である Tegison（合成レチノイド）に該当し、催奇形性が指摘されているため、**服用歴がある場合や、服用した人は献血してはいけません。**

また、ヒト由来プラセンタ注射薬の原料であるヒト胎盤からの異常プリオン感染による変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）の危険性が理論上完全に否定できないため、**過去にラエンネック、メルスモンの注射をした人にも献血をご遠慮いただいています。**

なお、現在、ヒト由来プラセンタ注射薬の使用によるvCJDの感染事例は報告されていません。

6

24時間以内にインフルエンザの予防接種を受けましたか。

インフルエンザワクチンは、不活化ワクチンであり、血中に病原体が存在する危険性はありませんが、献血者の体調を考慮して**接種後24時間を経過するまで献血してはいけません。**

7

1年以内にインフルエンザ以外の予防接種を受けましたか。

インフルエンザワクチン以外の不活化ワクチンやトキソイド（例えば、日本脳炎、コレラ、肺炎球菌、百日咳、A型肝炎等）を接種した人は、接種後24時間を経過するまで献血してはいけません。

B型肝炎ワクチン接種後は、HBs抗原検査が陽性と判定される可能性が高いため、2週間献血してはいけません。抗HBsヒト免疫グロブリンを単独またはB型肝炎ワクチンと併用した人は6ヵ月間献血してはいけません。

また、**動物に噛まれた後に狂犬病ワクチンを接種した人は接種後1年間、弱毒生ワクチン（例えば黄熱、麻疹、ポリオ、おたふくかぜ、風疹、水痘、BCG）を接種した人は接種後4週間献血してはいけません。**

その他、**破傷風、蛇毒、ジフテリアの抗血清投与を受けた人は3ヵ月間献血してはいけません。**

8

次の病気や症状がありましたか。

3週間以内

－はしか、風疹、おたふくかぜ、
帯状ぼうしん、水ぼうそう

1ヵ月以内

－発熱を伴う下痢

6ヵ月以内

－伝染性単核球症、リンゴ病（伝染性紅斑）

麻疹ウイルス、風疹ウイルス、ムンプスウイルスの感染を予防するため、**はしか、風疹、おたふくかぜ、帯状ぼうしん、水ぼうそうの治療後3週間以内の人は、献血してはいけません。**

輸血を介した細菌等の感染を防ぐため、**1ヵ月以内に発熱を伴う食中毒様の激しい下痢をした人は献血してはいけません。**我が国でもエルシニア菌の感染疑い例が報告されており、エルシニア感染症が確定された場合は**6ヵ月間献血してはいけません。**米国の報告によれば、死亡の危険率は輸血1単位あたりおよそ1/900万です。

エプスタイン・バーウイルス（EBV）の感染を防ぐため、**伝染性単核球症の症状が消えた後6ヵ月間献血してはいけません。**このウイルスの適切な検査方法は、世界的にも確立されていませんが、我が国では、ほとんどの人がかかったことがあるウイルスであり、生後2～7歳ではほぼ80%が、成人ではほぼ100%が抗体陽性を示します。輸血による感染は一般に症状が現れず、我が国では報告がありません。外国では伝染性単核球症や肝炎の発症が数例報告されています。

また、ヒトパルボウイルスB19の感染を防ぐため、**リンゴ病（伝染性紅斑）の症状が消えた後6ヵ月間献血してはいけません。**日本では成人の約50%がこのウイルスに対する抗体が陽性であり、ウイルス血症の頻度は低く（国内の報告によれば流行期で4000人に1人）、輸血による感染の危険性は非常に低くなっています。また、仮に症状が出現しても急性一過性に経過し、重症化はしません。ただし、溶血性貧血の患者や免疫抑制状態にある患者が感染した場合には、重症の貧血（赤芽球癆）を起こす危険性があり、また、子宮内で胎児が感染した場合、流産、胎児水腫を起こすことがあります。

9

1ヵ月以内に肝炎やリンゴ病（伝染性紅斑）になった人が家族や職場・学校等にいますか。

A型肝炎ウイルス（HAV）、E型肝炎ウイルス（HEV）の感染を防ぐため、**1ヵ月以内に家族や職場等にA型肝炎、E型肝炎を発症した人がいる場合は、1ヵ月間献血してはいけません。**通常、経口摂取により感染しますが、潜伏期から急性期にかけてウイルス血症が起こり、血液による感染が起こり得ます。

同様に、ヒトパルボウイルスB19の感染を防ぐため、**1ヵ月以内に家族や職場等にリンゴ病（伝染性紅斑）を発症した人がいる場合は、献血してはいけません。**

10

6ヵ月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。

- ① ピアス、またはいれずみ（刺青）をした。
- ② 使用後の注射針を誤って自分に刺した。
- ③ 肝炎ウイルスの持続感染者（キャリア）と性的接触等親密な接触があった。

B型肝炎ウイルス（HBV）やC型肝炎ウイルス（HCV）の感染を可能な限り防止するため、**他人の血液や体液に暴露された可能性のある人、6ヵ月以内にウイルスキャリアとの親密な接触をした人は献血してはいけません。**

現在、肝炎ウイルスに感染する危険性が高いと考えられるのは、注射器の回し打ち、消毒などを十分に行っていない器具によるピアス・刺青、不特定の相手との性的接触といわれています。ただし、日常生活で感染することはほとんどありません。また、C型肝炎ウイルスについては、性的接触で感染することはほとんどありません。

11

1年以内に次の病気等にかかったか、あるいは現在治療中ですか。

外傷、手術、肝臓病、腎臓病、糖尿病、結核、性感染症、ぜんそく、アレルギー疾患、その他

採血の際に副作用が起きたり、献血者の健康に悪影響を与えるおそれがある疾患については、献血者自身と受血者双方の安全性を確保するため、**献血をご遠慮いただく場合があります。**また、**開胸・開腹・開頭を要するような大手術を受けた人及び開放骨折をした人は、6ヵ月間献血をご遠慮いただいています。****ぜんそく、アレルギー疾患等**についても、治療薬が患者に悪影響を及ぼすおそれがあるため、**献血をご遠慮いただく場合があります。**

12

今までに次の病気にかかったか、あるいは現在治療中ですか。

B型肝炎、がん（悪性腫瘍）、血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん

B型肝炎ウイルスキャリアは長期の経過により、ウイルスが変異して産生するウイルス抗原量が少なくなり、検出感度以下となる場合があります。従って、**過去にB型肝炎ウイルスキャリアと診断されたことがある人は献血してはいけません。**

血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん等については、採血の際に副作用が起きたり、献血者の健康に悪影響を与えるおそれがあるため、また、**がんの既往がある場合は、原則として献血をご遠慮いただいています。**

13

今までに次の病気にかかったことがありますか。

C型肝炎、梅毒、マラリア、バベシア症、シャーガス病、リーシュマニア症、アフリカトリパノソーマ症

C型肝炎は慢性化しやすく、肝炎が治癒しても血中にウイルスが存在していることがあるので、**C型肝炎の既往歴のある人及びC型肝炎ウイルスキャリアと言われたことのある人は献血してはいけません。**

梅毒は、血小板製剤や新鮮血の使用で感染するおそれがあるため、**既往歴のある人は献血してはいけません。**

マラリアの既往歴のある人は、マラリアの発熱発作が長期間みられなくても、肝臓等にマラリア原虫が残存している場合があります（特に三日熱、卵形マラリア）、輸血による感染源になりうるため、**献血してはいけません。**

その他、シャーガス病やバベシア症等の既往歴のある人も**献血してはいけません。**

14

海外から帰国（入国）して4週間以内ですか。

海外との交流が盛んになるにつれて、海外で何らかの感染性疾患に罹患したまま帰国（入国）する人が多くなっています。これらの疾患は、マラリアのように血液を介して感染するものが多く、その一つ一つを何らかの検査でスクリーニングすることは困難です。ウエストナイル熱をはじめとする輸入感染症対策のため、**大半の輸入感染症の潜伏期間内にある帰国後4週間は献血してはいけません。**

15

1年以内に外国（ヨーロッパ・米国・カナダ以外）に滞在しましたか。

16

4年以内に外国（ヨーロッパ・米国・カナダ以外）に1年以上滞在しましたか。

マラリアによる感染を防ぐため、WHOの指定しているマラリア流行地域に旅行した人については1年間、長期滞在者については3年間献血してはいけません。アメリカではおよそ100万単位当たり0.25の確率で輸血による感染が起こっており、我が国では、その頻度はさらに低いものと考えられていますが、今後海外旅行等の増加により、危険性が高まることが懸念されています。

その他、中南米に居住歴のある方については、中南米に流行地をもつサシガメ（昆虫）が媒介するシャーガス病のリスク（病原体保有者）がある場合がありますので注意が必要です。

17

英国に1980年（昭和55年）～1996年（平成8年）の間に通算1ヵ月以上滞在しましたか。

18

ヨーロッパ（英国も含む）・サウジアラビアに1980年以降、通算6ヵ月以上滞在しましたか。

変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）については、輸血で感染する可能性が示唆されています。したがって、昭和55年以降に、表のA及びBに掲げる「採血制限対象国」において、「滞在歴」の欄に掲げる期間滞在した人は、**献血してはいけません。**なお、平成29年12月時点で、英国において、輸血により異常プリオンタンパクに感染した疑いのある事例が4例、血液凝固因子製剤により感染した疑いのある事例が1例報告されています。

		採血制限対象国	通算滞在歴	滞在時期
対象国と滞在歴	A	① 英国	1ヵ月以上 (1996年まで) 6ヵ月以上 (1997年から)	1980年～ 2004年
		② アイルランド、イタリア、オランダ、スペイン、ドイツ、フランス、ベルギー、ホルトガル、サウジアラビア	6ヵ月以上	
		③ スイス	6ヵ月以上	
	B	① オーストリア、ギリシャ、スウェーデン、デンマーク、フィンランド、ルクセンブルグ	5年以上	1980年～ 2004年
		② アイスランド、アルバニア、アンドラ、クロアチア、サンマリノ、スロバキア、スロベニア、セルビア(2008年に分離独立した「コソボ」含む)、モンテネグロ、チェコ、バチカン、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア、マルタ、モナコ、ノルウェー、リヒテンシュタイン、ルーマニア	5年以上	

※Bに掲げる国の滞在歴を計算する際には、Aに掲げる国の滞在歴を加算するものとする。

19

エイズ感染が不安で、エイズ検査を受けるための献血ですか。

エイズに限らず、**感染症の検査を目的とする献血は、輸血を受ける患者に対して感染の危険性を高めるものですから、絶対に行ってはいけません。**エイズ検査は保健所等にて無料・匿名で実施されています。

20

6ヵ月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。

- ① 不特定の異性または新たな異性との性的接触があった。
- ② 男性どうしの性的接触があった。
- ③ 麻薬、覚せい剤を使用した。
- ④ エイズ検査（HIV検査）の結果が陽性だった（6ヵ月以前も含む）。
- ⑤ 上記①～④に該当する人と性的接触をもった。

エイズの原因となるウイルスである HIV に感染している危険性のある人は、献血してはいけません。

HIV 感染者及びエイズ患者の報告数は近年 1,500 件前後で推移しています。平成 29 年の新規 HIV 感染者の報告件数は 976 件であり、新規エイズ患者の報告件数は 413 件でした。累積報告件数は HIV 感染者報告数が 19,896 件、エイズ患者報告数が 8,936 件になりました。平成 29 年の HIV 感染者の主な感染経路は、異性間の性的接触 149 件 (15.3%)、同性間の性的接触 709 件 (72.6%)、静注薬物使用 3 件 (0.3%) があげられています。

エイズについては、昭和 56 年に米国で世界初の症例報告があり、昭和 58 年には HIV が発見され、昭和 60 年に日本人初のエイズ患者が認定されました。我が国では約 1,400 名の血友病患者が、血友病治療のために使用していた非加熱血液凝固因子製剤により HIV に感染し、国及び製薬企業 5 社を被告とする損害賠償請求訴訟が提起され、平成 8 年 3 月に和解が成立しました。また、和解に則り、非加熱製剤により HIV に感染された方に対する救済事業等を実施しています。

加熱処理が導入されてからは、血液凝固因子製剤などの血漿分画製剤による感染は報告されていません。また、献血血液については、昭和 61 年から HIV の抗体検査が始まりました。平成 11 年には核酸増幅検査 (NAT) が導入され、輸血による感染の危険性は大幅に減少しています。しかしながら、平成 15 年に、NAT 導入後の輸血後 HIV 感染が 1 例、20 プール NAT 導入後も平成 25 年に 1 例報告されており、更なる安全対策として平成 26 年に個別検体による NAT を導入しました。検出感度の優れている NAT といえども、感染ごく初期のものは検出することができないことから、**6ヵ月以内に上記 5 項目 (④は 6ヵ月以前も含む) のいずれかに該当する人は、献血してはいけません。**

21

今までに輸血（自己血を除く）や臓器の移植を受けたことがありますか。

輸血歴、臓器移植歴のある方は、未知のウイルス等の感染を防ぐ意味から、献血をご遠慮いただいています。輸血の安全性は、相当程度改善しましたが、未知のウイルスを排除することはできません。このような技術の限界を踏まえ、念のため、献血をご遠慮いただいているものです。

22

今までに次のいずれかに該当することがあります。

- ① クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD) または類縁疾患と診断された。
- ② 血縁者に CJD または類縁疾患と診断された人がいる。
- ③ ヒト由来成長ホルモンの注射を受けた。
- ④ 角膜移植を受けた。
- ⑤ 硬膜移植を伴う脳神経外科手術を受けた。

プリオンの適切な検査法のない現在、問診のみが唯一のスクリーニング法です。**上記のいずれかに該当する人は、献血してはいけません。**

なお、硬膜移植を伴う脳神経外科手術に関しては、医療機器であるヒト乾燥硬膜「ライオデラ」を介して CJD に感染し、被害を被ったことに対し、国、輸入販売業者及びドイツの製造業者を被告とする損害賠償訴訟が提起され、平成 14 年 3 月に和解が成立しました。

23

現在妊娠中または授乳中ですか。
6ヵ月以内に出産、流産をしましたか。

母体の健康を保護するため、**妊娠中、出産・流産後 6ヵ月以内、授乳中（分娩後 1 年まで）の女性には献血をご遠慮いただいています。**

問診内容の個人情報の保護を厳守します。

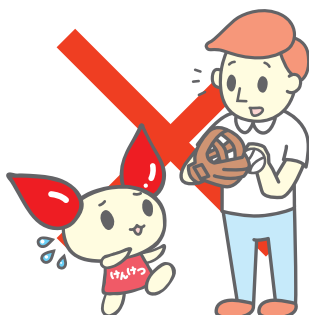
献血後の注意事項

採血による体調不良から身を守るため、以下の内容について注意する必要があります。生徒へ指導する際の参考にしてください。

採血中や採血後、まれにめまいや皮下出血などの体調不良が発生することがあります。身体を守るため、次のお願いを守ってください。

※発生率 気分不良・吐き気・めまい・失神など：約0.9% 皮下出血：約0.2%、神経損傷（脱力や痛み）：約0.01%

スポーツ



献血当日の激しいスポーツは避けてください。

身体への負担



重い荷物を持ちたりして、腕に力を入れすぎないように注意してください。また、針の跡をもんだり、こすったりしないでください。

気分が悪くなったり、めまいを感じたら、すぐにしゃがむか、横になってください。
また、腕の痛みなど何か心配な時は、直ちに血液センターまで連絡してください。



エレベーター・階段など



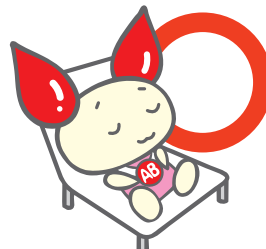
エレベーターや階段などを使用する際には、特に注意してください。

水分補給



水分を十分補給してください。

休憩



自転車に乗る時などは、十分な休憩をとってください。

献血者の健康被害

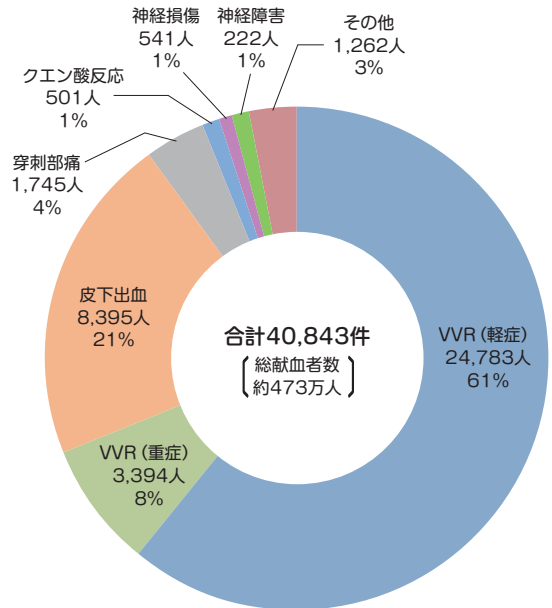


献血時の採血は、献血者の健康状態等を十分確認した上で行われますが、時には気分不良、めまい、神経損傷などの健康被害が起こることがあります（大半は、採血後に十分な休憩や水分補給を行うことで防げます）。

献血者の健康被害の症状とその発生状況は右図のとおりです。

発生頻度が高いのは、血管迷走神経反応（VVR）と呼ばれるもので、一時的な気分不良や顔面蒼白などの症状が代表的です。

日本赤十字社では、これらの健康被害を防ぐために、採血後の安静や水分補給について注意を促し、万が一、腕の痛みなど健康状態に心配が生じた時は、血液センターに連絡するよう呼びかけています。



平成 29 年度の献血者の健康被害発生状況

献血者健康被害救済制度

健康被害が医療機関の受診を要するような状態になった場合、医療費や医療手当などが支給される制度です。

平成29年度は、新たに483人について、この制度が適用されました。

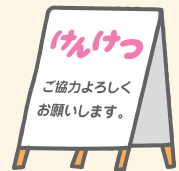
(平成30年12月1日現在)

給付項目	給付額等
医療費	病院又は診療所を受診した場合、その医療に要した費用を補填するもの。
医療手当	病院又は診療所を受診した場合に要する医療費以外の費用を補填するもの。その額は、1日につき4,550円、月ごとの上限を36,400円とする。
障害給付	後遺障害に対して、その障害の程度に応じた一時金を給付するもの。その額は、給付基礎額8,800円に障害等級1～14級に応じた倍数を乗じて得た額（440,000円～11,792,000円）とする。
死亡給付	採血によって生じた健康被害が原因で死亡した献血者等の一定の範囲の遺族に対して一時金を給付するもの。その額は、48,408,000円とする。
葬祭料	葬祭を行うことに伴う出費に着目して、葬祭を行う者に対して給付するもの。その額は、206,000円とする。

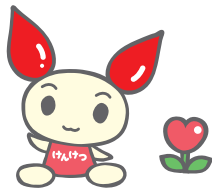
売血から献血、国内自給をめざして

日本の血液事業のあゆみ〈三二年表〉

1948年(昭和23年)	赤十字国際会議が血液事業推進を決議。
1952年(昭和27年)	売血による商業血液銀行と献血による日本赤十字社(赤十字血液銀行)が血液事業を開始。
1956年(昭和31年)	「採血及び供血あつせん業取締法」施行。 人の血液の利用適正、被採血者の保護を目的とし、採血業者に対する規定を設けている。 同法施行規則により採血基準が定められている。
1962年(昭和37年)	売血による供血者貧血と売血の輸血で血清肝炎が多発したことが社会問題となり、「黄色い血」追放運動始まる。
1964年(昭和39年)	輸血用血液を献血により確保する体制を確立するよう閣議決定。
1969年(昭和44年)	売血による輸血用保存血液の製造を中止(預血制度に切替え)。
1972年(昭和47年)	輸血後のB型肝炎の予防のため、B型肝炎ウイルスのHBs抗原検査を開始。
1974年(昭和49年)	輸血用血液の献血による自給の達成(預血制度を廃止)。
1980年(昭和55年)	成分輸血療法が普及し、全供給本数の70%以上となる。 輸入による血漿分画製剤の使用が飛躍的に増加。
1982年(昭和57年)	献血者全員に検査サービスとして、生化学検査の結果通知を開始。
1986年(昭和61年)	400ml採血及び成分(血漿、血小板)採血を導入。 輸血による感染が問題となっているHIV・ヒトリンパ球向性ウイルスI型抗体検査を開始。
1989年(平成元年)	輸血後C型肝炎の予防のため世界に先がけてHCV抗体検査を開始。 また、B型のための検査も従来のHBs抗原検査に加えてHBc抗体検査を開始。
1990年(平成2年)	国内の有償採血を完全に廃止。 民間企業の製造能力等を活用することについての関係三者による基本合意が成立する。
1991年(平成3年)	血液比重、血圧などの採血基準を緩和し、献血者の対象を拡大。
1992年(平成4年)	従来のHCV抗体検査より感度の高い第二世代の試薬によるHCV抗体検査を開始。
1993年(平成5年)	輸血による感染症や免疫反応による副作用防止のため、自己血輸血を普及・推進。
1994年(平成6年)	国民に献血いただいた血液による血液凝固第Ⅷ因子製剤の国内自給達成。
1995年(平成7年)	安全性をより高めるために、全国的に問診票を統一。
1998年(平成10年)	GVHD(移植片対宿主病)を予防する放射線照射輸血用血液が承認され、供給を開始。
1999年(平成11年)	献血年齢の引き上げを行い、69歳(※1)まで献血が可能となる(血小板成分採血については、現行のまま54歳までとする)。 全血液センターの献血血液にNAT(核酸増幅検査)を導入。
2003年(平成15年)	「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」施行。
2006年(平成18年)	献血カードを導入。 献血による健康被害に対する補償のための措置を実施。
2007年(平成19年)	白血球除去技術の導入。
2008年(平成20年)	抗原抗体検査においてCLEIA法(化学発光酵素免疫法)及び、より高感度のNATを導入。
2011年(平成23年)	400ml採血の献血年齢の引き下げを行い、男性に限り、17歳から献血が可能となる。 また、血小板成分採血の献血年齢の引き上げを行い、男性に限り、69歳(※1)まで献血が可能となる。また、健康診断の方法から血液比重検査を廃止し、男性に限り、血色量数の下限値を引き上げた(※2)。
2014年(平成26年)	診療録・問診票の電子化。 本人確認生体認証システムの導入。個別NATの導入。



※1 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られる。
 ※2 200ml全血採血「12g/dl」→「12.5g/dl」、400ml全血採血「12.5g/dl」→「13g/dl」。



厚生労働省

お問い合わせ先

厚生労働省 医薬・生活衛生局血液対策課

東京都千代田区霞が関1-2-2

〒100-8916 TEL.03-5253-1111 (代表)

2018年12月 印刷